



## 院長の1分レクチャー11 【ヒトメタニューモウイルス】

春先に流行するかぜの1つで、RSウイルスと症状や経過が似ています。こどものかぜの約10%を占めていますが、ニューモ=肺という名前から分かる通り肺炎を起こしやすいのが特徴です。

時期：3月から6月に流行します。何度も繰り返し感染します。初めて感染した2歳未満のこどもや喘息持ちのこどもは特に重症化しやすいので注意しましょう。

症状：咳から徐々に始まり、2日ほどして発熱がみられ、咳もひどくなります。

熱は長いと5日ほど続きます。解熱後も激しい咳が続くことがあります。

診断：鼻から綿棒を入れて検査します。10分ほどで結果が出ます。

治療：直接効く薬はなく、抗生剤も効果はありません。咳の薬など対症療法が中心です。

咳が激しい場合やゼーゼーが強い場合、当院では吸入器を貸し出しています。

登園：激しい咳が残りやすいので、咳が少し落ち着いてから登園してください。

- ① 春先に発熱、咳、ゼーゼーがあったら要注意！
- ② インフルエンザと同じような検査があります。

※「院長の1分レクチャー」はホームページや  
公式LINEアカウントからも読むことができます。



おおつか  
こどもクリニック